

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 1		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	先生方はわかりやすい授業の工夫をしている。	-	あなたは授業の工夫改善に努めている。
結果	教員	保護者	生徒
原因及び反省	○教員の評価がダウンしたのは、授業を準備する時間を思うようにとれず、満足いく授業ができていないからではないか。一方で、生徒の評価はアップしている。これは、ICT機器を活用する授業が多くなり、視覚的教材を用いることが増えたからではないか。		
改善策	○業務の効率化を進め、教員・生徒のICT機器に関するスキルアップを図ることが必要である。		

意識調査No. 2		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、基礎学力がついてきたと思う。	お子さんは、基礎学力がついてきたと思う。	生徒は、基礎学力がついてきた。
結果	教員	保護者	生徒
原因及び反省	○到達度テストの結果から、下位層～中間層までの点数が伸び、基礎学力の定着が見られたため、教員と保護者の評価がアップしたと考えられる。その一方で上位層が伸び悩んでいる。そのため、前回のアンケートでAをつけ、自分の成績に自身を持っていたような生徒の評価がダウンしてしまったのではないか。		
改善策	○進学希望者や上位層を対象としたスタディサプリのクラス分け配信等の新たな取り組みが必要である。また、基礎学力の定義や求められているレベルの共通理解も必要である。		

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 3		<教務部>		
	生徒	保護者	教員	
	あなたは、定期的に家庭で学習に取り組んでいる。	お子さんは、定期的に家庭で学習に取り組んでいる。	あなたは、定期的に家庭で学習できる指導をしている。	
結果	教員	A, 19%	B, 53%	C, 23%
	保護者	A, 14%	B, 41%	C, 40%
	生徒	A, 10%	B, 33%	C, 45%
				D, 12%
原因及び反省	○教員の評価がアップしたのは、スタディサプリの取り組みが大きいのではないかと。生徒の評価がダウンしたのは、2学期後半からログインできない等が原因で取り組み率が低下したことが原因として考えられる。			
改善策	○今後は、スタディサプリの対応窓口を増やすことや、5教科担当者だけでなく、学年や学科とも連携していくことが必要である。			

意識調査No. 4		<生徒指導部・保健部>		
	生徒	保護者	教員	
	あなたは、遅刻・欠席・早退をしないように心がけている。	お子さんが遅刻・欠席・早退をしないように努めている。	生徒が遅刻・欠席・早退をしないように日頃から指導している。	
結果	教員	A, 49%	B, 49%	C, 2%
	保護者	A, 62%	B, 28%	C, 9%
	生徒	A, 57%	B, 32%	C, 10%
				D, 1%
原因及び反省	○先生方の意識の向上が見られる。 ○生徒・保護者においては学校生活への慣れからなのか、意識の低下が見られた。			
改善策	○遅刻に対する指導において、教務と連携を図り学期ごとに指導を行っていただければと考える。			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 5		<生徒指導部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは、進路を見すえた服装・頭髪など、自らの身だしなみを整えている。	学校は、進路を見すえた服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。	学校は、進路を見すえた服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。
結果	教員	A, 35%	B, 51%	C, 9% D, 5%
	保護者	A, 50%	B, 42%	C, 6% D, 2%
	生徒	A, 45%	B, 47%	C, 6% D, 2%
原因及び反省	○生徒・保護者とも意識は高まっているが、一部の生徒が意識していない状況が見られる。			
改善策	○進路を見据えた啓蒙活動の充実を図りながら、まずはメリハリのある着こなしの徹底を図っていきたい。			

意識調査No. 6		<生徒指導部・農業部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは、部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動している。	お子さんは、部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動している。	あなたは、生徒が部活動や農業クラブ、伝統芸能継承活動に積極的に参加して活動するように指導している。
結果	教員	A, 49%	B, 49%	C, D, 0% 無回答2%
	保護者	A, 53%	B, 32%	C, 14% D, 1%
	生徒	A, 40%	B, 38%	C, 21% D, 1%
原因及び反省	○教員と生徒・保護者の捉え方にギャップがある。			
改善策	○部活動・農業クラブ・伝統芸能のどの項目に対する回答なのかを把握し、生徒の活動状況を改善していきたい。			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 7		<生徒指導部・保健部>																						
	生徒	保護者	教員																					
	あなたは、高校生活をとおして以前より自信が持てるようになった。	お子さんは、高校生活をとおして以前より自信を持つようになった。	あなたは、生徒が学校生活をとおして以前より自信が持てるような指導に努めている。																					
結果	<table border="1"> <caption>調査結果 (Q7)</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>44%</td> <td>51%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>47%</td> <td>42%</td> <td>11%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>41%</td> <td>43%</td> <td>13%</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>				対象	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	教員	44%	51%	5%	0%	保護者	47%	42%	11%	1%	生徒	41%	43%	13%	4%
対象	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)																				
教員	44%	51%	5%	0%																				
保護者	47%	42%	11%	1%																				
生徒	41%	43%	13%	4%																				
原因及び反省	○数値的に高い傾向にあるが、生徒においては自信を持っていないと答えているものが多少いる。																							
改善策	○先生方には日頃から様々な場面で、生徒を褒めて自信につながる指導をしていただいていると思うが、これまで以上に働きかけをお願いしたい。																							

意識調査No. 8		<進路指導部>																										
	生徒	保護者	教員																									
	学校は、進路に関する情報を十分に提供している。	学校からの進路情報を参考に、お子さんと進路に関する話をしている。	学校は、進路に関する情報を生徒・保護者に十分に提供している。																									
結果	<table border="1"> <caption>調査結果 (Q8)</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A (%)</th> <th>B (%)</th> <th>C (%)</th> <th>D (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>40%</td> <td>56%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>31%</td> <td>49%</td> <td>19%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>41%</td> <td>49%</td> <td>10%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>				対象	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	無回答 (%)	教員	40%	56%	2%	0%	2%	保護者	31%	49%	19%	2%	0%	生徒	41%	49%	10%	1%	0%
対象	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	無回答 (%)																							
教員	40%	56%	2%	0%	2%																							
保護者	31%	49%	19%	2%	0%																							
生徒	41%	49%	10%	1%	0%																							
原因及び反省	○教員は「A（当てはまる）」が12%増、「C（あまり当てはまらない）」が10%減。また、生徒は「B（だいたい当てはまる）」が8%増、「C（あまり当てはまらない）」が4%減であった。この時期は進路行事等が増え、進路だよりに限らず、インターンシップ等の進路行事をとおして進路に関する情報を提供しているからと思われる。 ○保護者の結果は前回と変わらなかった。主な進路情報源である「進路だより」が保護者のもとに届いていないことが考えられる。																											
改善策	○「進路だより」に関しては、三者面談等で保護者に確実に手渡しをしてもらう。 ○企業説明会など、保護者にも進路行事に参加してもらうようにする。																											

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 9		<進路指導部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、進路行事をとおして、進路についてより深く考えるようになった。	進路行事をとおして、お子さんと進路について話す機会が増えた。	生徒は、進路行事をとおして、進路についてより深く考えるようになった。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 33%	A, 32%	A, 40%
	B, 56%	B, 41%	B, 47%
	C, 9%	C, 25%	C, 12%
	D, 0%	D, 2%	D, 1%
	無回答2%		
原因及び反省			
○教員の「A（当てはまる）」が5%増、「C（あまり当てはまらない）」が5%減、保護者と生徒の結果は前回とあまり変わらなかった。この時期は進路行事等が増え、進路に関して考える機会が増えたと考えられる。			
改善策			
○生徒の結果を学年別にみると、2・3学年では「C（あまり当てはまらない）」が少なく、1学年では多かった。この結果は、1学年は今年度「職業インタビュー」を実施しなかったことも原因と思われる。来年度は1学年の進路行事を充実させる必要がある。			

意識調査No. 10		<保健部・総務部・農業部>	
	生徒	保護者	教員
	学校は、安全な学習環境づくりに取り組んでいる。	学校は、安全な学習環境づくりに取り組んでいる。	あなたは、安全な学習環境づくりの指導に努めている。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 51%	A, 41%	A, 44%
	B, 49%	B, 51%	B, 47%
	C, 6%	C, 6%	C, 6%
	D, 2%	D, 3%	
原因及び反省			
○生徒、保護者、教員とも評価がよく、学校の安全な環境づくり（いじめ対策も含む）に取り組んでいる。 ○積極的な情報発信が、生徒や保護者の安心感につながっている。 ○生徒、保護者のCD評価については、内容や原因について精査していく必要がある。			
改善策			
○学習環境の整備を今後も続けていく。 ○今後も一斉メールを活用した保護者への情報提供を行い、家庭の協力も得ていく。			

令和5年度 福島県立相馬農業高等学校 学校経営・運営ビジョンに関する意識調査（第2回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 11		<総務部・農業部>																									
	生徒	保護者	教員																								
	学校は、ホームページ掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	学校は、ホームページの掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	あなたは、ホームページ掲載に努め、メール配信を活用している。																								
結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>調査結果のデータ</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A (19%)</th> <th>B (33%)</th> <th>C (37%)</th> <th>D (5%)</th> <th>無回答 (7%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>19%</td> <td>33%</td> <td>37%</td> <td>5%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>36%</td> <td>56%</td> <td>6%</td> <td>2%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>28%</td> <td>53%</td> <td>17%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	A (19%)	B (33%)	C (37%)	D (5%)	無回答 (7%)	教員	19%	33%	37%	5%	7%	保護者	36%	56%	6%	2%	1%	生徒	28%	53%	17%	2%	0%
	対象者	A (19%)	B (33%)	C (37%)	D (5%)	無回答 (7%)																					
	教員	19%	33%	37%	5%	7%																					
保護者	36%	56%	6%	2%	1%																						
生徒	28%	53%	17%	2%	0%																						
原因及び反省	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の情報については、ホームページを通じて、十分行われている。 ○半数以上の教員は、ホームページの掲載に努めている。ただ、メールの配信については、十分に活用できていない。 ○各種行事や大会等の後に、ホームページに掲載していないときがある。 																										
	改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○各部、各学年で一斉メールの有効な活用を検討していく必要がある。 ○研修会を複数回実施し、ホームページ以外にもノートやインスタグラムの活用について周知する。 ○一斉メールを活用した文書の配付について、検討していく必要がある。 																									